

2017年度上期 決算説明会

2017年11月22日





2017年度上期 連結決算概要

**あすか製薬株式会社
専務取締役 丸尾 篤嗣**

損益計算書(連結)

単位: 百万円	2016年度 上期	2017年度 上期	増減額	増減率
売上高	24,316	25,054	737	3.0%
売上原価	15,027	15,231	203	1.4%
売上総利益	9,288	9,822	534	5.8%
販売費及び一般管理費	7,956	7,949	△ 6	△ 0.1%
営業利益	1,332	1,872	540	40.5%
経常利益	1,455	1,993	537	36.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,275	1,643	367	28.8%

事業別売上高(連結)

単位: 百万円	2016年度 上期	2017年度 上期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	22,020	22,705	90.6%	684	3.1%
動物用医薬品	2,168	2,232	8.9%	63	2.9%
その他	126	116	0.5%	△ 10	△ 8.4%
合計	24,316	25,054	100.0%	737	3.0%

主要製品売上高

単位: 百万円

領域	製品	2016年度 上期	2017年度 上期		2017年度	
		実績	実績	前同比(%)	計画	前同比(%)
内科	※1、※2 カンデサルタン類	6,325	6,843	108.2%	13,548	106.3%
	チラーヂン	2,807	2,632	93.8%	5,403	99.2%
	リピディル	2,209	2,266	102.5%	4,394	99.7%
	※1 アムロジピン	860	837	97.4%	1,638	97.9%
	メルカゾール	589	566	96.1%	1,128	99.2%
	※1 ラベプラゾール	498	460	92.5%	895	94.2%
	リフキシマ	—	333	—	1,445	1060.9%
産婦人科	ノルレボ	586	622	106.1%	1,245	109.3%
	アンジュ	478	456	95.4%	899	96.2%
	メノエイド	336	355	105.7%	686	104.5%
	ルテウム	130	214	164.1%	461	142.8%
泌尿器科	※1、※3 リュープロレリン	1,905	2,070	108.7%	4,113	107.1%
	※1 ビカルタミド	941	854	90.7%	1,748	98.1%
	プロスタール	318	406	127.5%	857	105.7%
	※1 リストリーム	333	306	92.0%	627	97.0%

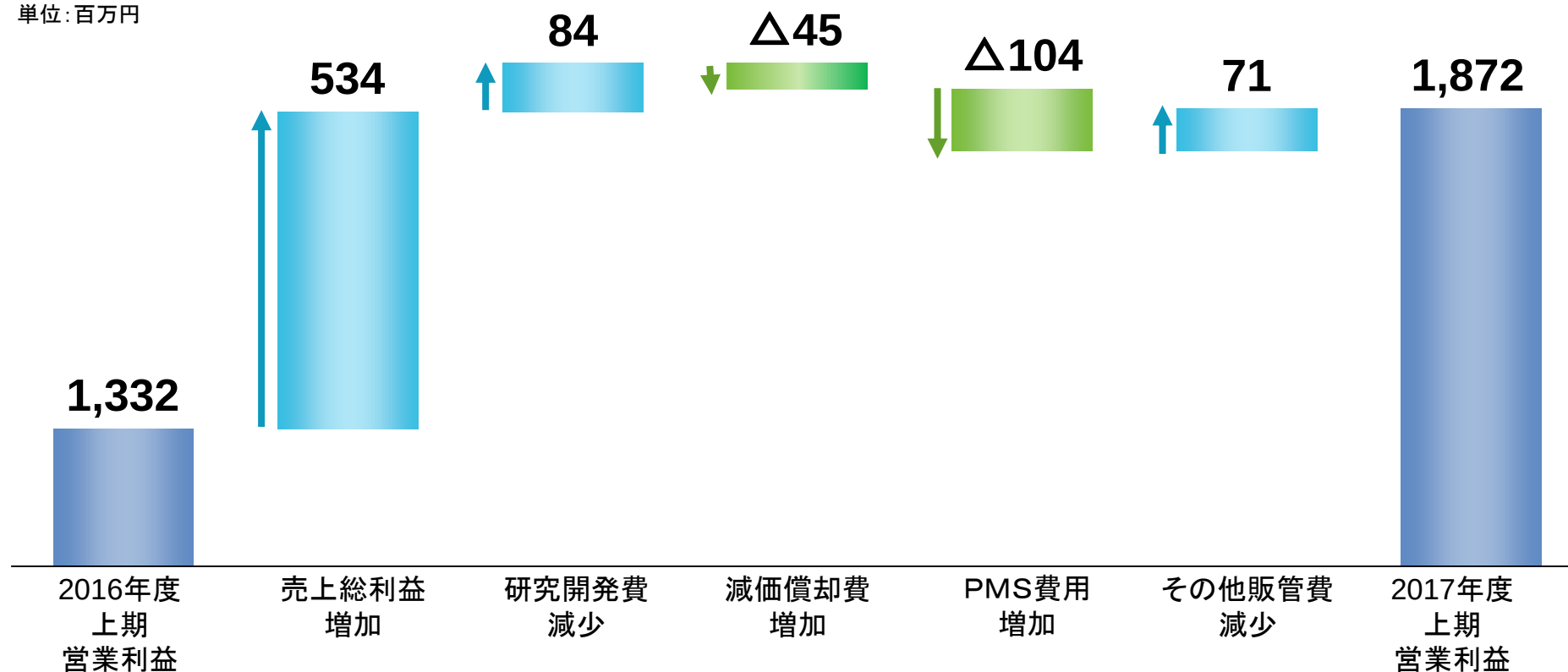
※1 ジェネリック医薬品

※2 配合剤を含む

※3 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mgと合算

営業利益増減分析(対前同)

単位: 百万円



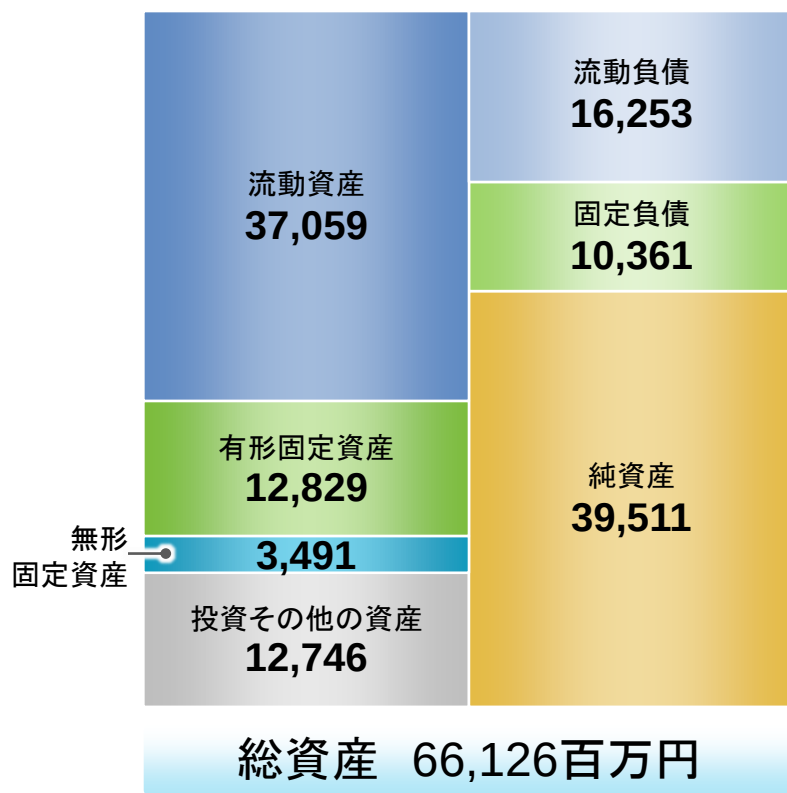
要因分析

- 売上高の増加に伴い、売上総利益は大幅に増加
- PMS費用は増加したものの、研究開発費等の減少により販売費及び一般管理費は減少

貸借対照表(連結)

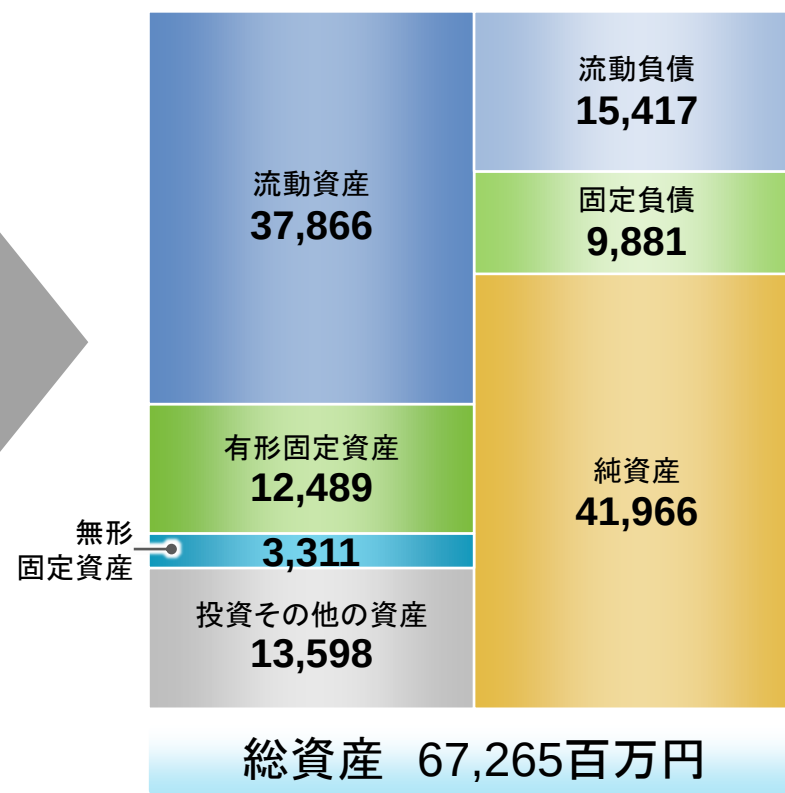
2016年度末

単位:百万円



2017年度 上期末

単位:百万円



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産	流動負債	固定負債	純資産
増減額	1,138	806	△340	△180	852	△836	△480	2,454

2017年度予想(連結)

単位: 百万円

	2016年度 実績	2017年度 予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	48,527	50,000	1,473	3.0%
営業利益	1,793	2,000	207	11.5%
経常利益	2,002	2,100	98	4.9%
当期純利益	2,944	1,800	△1,144	△38.9%



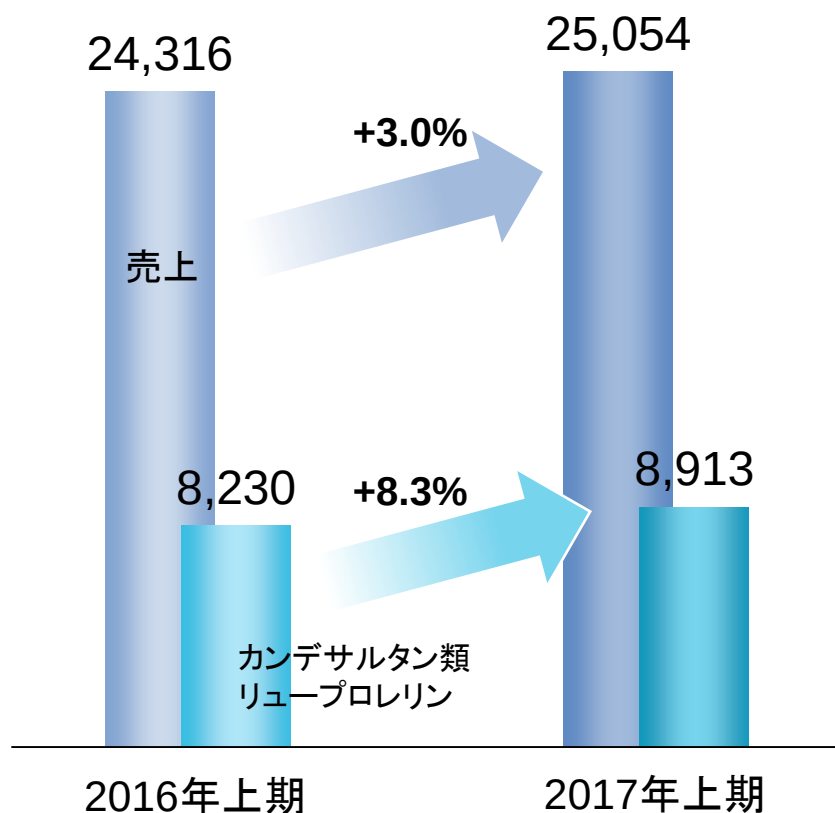
2017年度上期総括 年度中間報告

**あすか製薬株式会社
代表取締役社長 山口 隆**

本日の内容

- 上期総括
 - 業績牽引要因
- 次のステップへ向けた取り組み
 - リフキシマの進捗
 - スペシャリティ領域（産婦人科・甲状腺）
- 開発パイプライン
- ASKA PLAN2020達成に向けて

2017年度上期の総括



主な取り組み・成果

- カンデサルタンAG・リュープロレリンGEが業績を牽引
- リフキシマの着実な採用、適正使用情報の提供
- 組織改革

今後は活動をリフキシマ、産婦人科領域へシフト

リフキシマ発売後の状況

内科

肝性脳症のKey Drugへ

1 既存抗菌薬からの切り替え

- 全例調査対象
- 流通管理品目

2 既存治療薬との併用

- 長期処方解禁
(12月)

3 中心的薬剤の位置づけ

4 さらなる市場浸透を図る



基幹病院等の採用状況

(当社調査)

■ 全81大学病院の採用

■ 全肝疾患診療連携拠点病院の採用

ピックアップ 採用率31.6% 第10位

難吸収性抗菌薬リフキシマ錠 新たな治療に道 「肝性脳症における高アンモニア血症」で初の承認薬

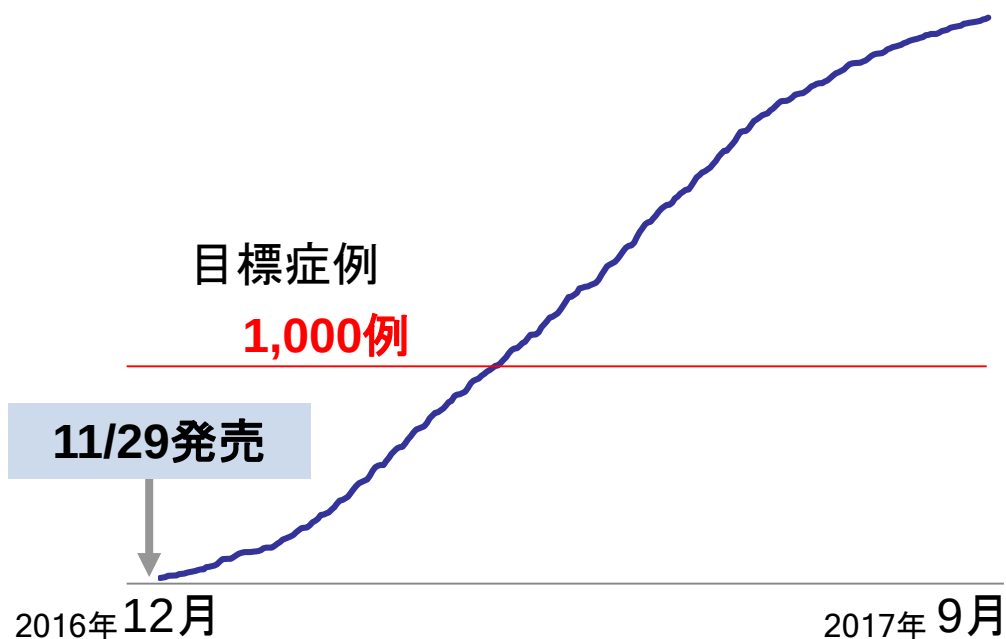
あすか製薬が製造販売する難吸収性抗菌薬リフキシマ錠（一般名：リファキシミン）が採用率上位になったのは、肝性脳症に新たな治療法を提供する薬剤と評価されたからだ。肝性脳症は、肝硬変など肝機能の低下で、体内で産生されるアンモニアが代謝、解毒されず、脳に移行し、昼夜逆転や見当識障害、過度の興奮やせん妄といった精神・神経症状を発症するとされる。患者と家族・周囲の日常生活への影響が大きい疾患である。（酒田 浩）



(Monthly ミクス 2017年10月号)

使用成績調査の登録状況

累計登録症例数推移



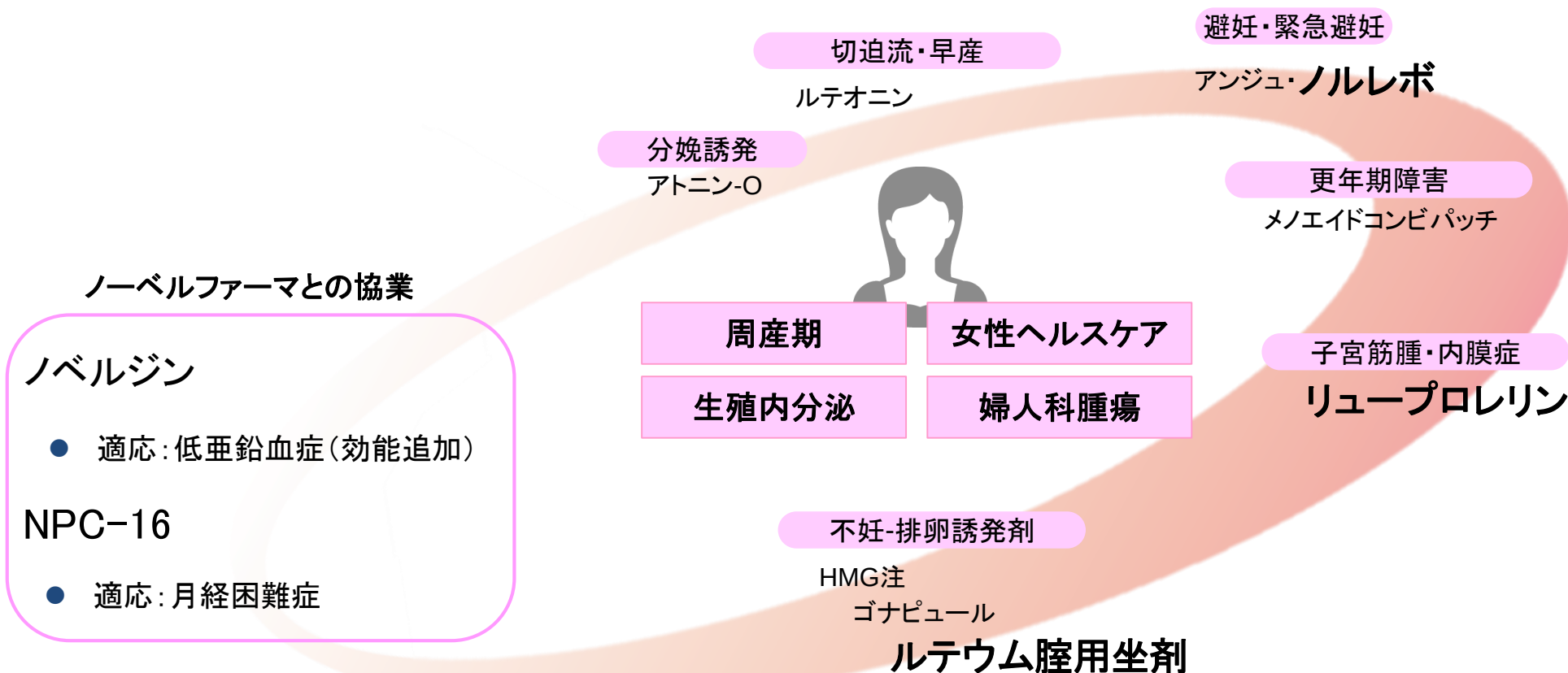
- 2016年11月 販売開始
- 2017年8月 市販直後調査 報告
- 使用成績調査 必要症例数確保
- 今後の予定
 - ・ 使用成績調査票の回収とデータ解析
 - ・ 調査報告書提出

目標症例に到達し、データ回収・解析を進める

産婦人科領域での協業促進

産婦人科

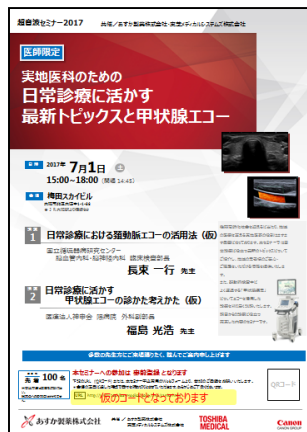
産婦人科領域でのラインナップ充実を図りつつ、プレゼンス向上を目指す



甲状腺領域の活動

内科

医師向けセミナー



新聞広告



あすか製薬メディカルの
先進的な検査等による
患者掘り起し

チラーデン
メルカゾール
プロパジール

100億

T4注射

継続的な取り組みを推進

チラーデン
メルカゾール
プロパジール

68億

- 《協働企業展開》
甲状腺検査推進キャンペーン
除外診断検査キャンペーン
- 《甲状腺学会連動企画》
60周年事業: 刊行誌「甲状腺ホルモンと関連疾患」の活用
日本甲状腺学会学術集会スポンサードシンポジウム
- 《医療安全の推進》
医師会講演会

基盤領域として着実・継続的な活動をおこなう

開発パイプライン

研究開発の状況（2017年11月時点）

開発コード／領域・効能	Ph I	Ph II	Ph III	申請	承認
L-105（リファキシミン） 肝性脳症（小児）	（準備中）				
※その他の適応症への開発については今年度中の進展を目指す					
CDB-2914（ウリプリスタル） 子宮筋腫			Ph III 開始		
AKP-501（rFSH製剤） 不妊症	Ph I 終了				
AKP-015（T4注射剤） 粘液水腫性昏睡/重症甲状腺機能低下症	（準備中）				
※「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において開発企業の募集が行われ、当社が開発することを決定した。					
NPC-16 婦人科領域（月経困難症）					

※ノーベルファーマ開発および製造販売

次期新製品の開発パイプライン

他社との提携

ノーベルファーマ(NPC-16)

婦人科領域での包括的提携

適応拡大

リフキシマ(IBD)

クローン病を対象に進める

自社創製品の開発

泌尿器領域

次年度の臨床入り目指す

新しいテクノロジー

TesoRx社からの導入品(THG-1001)

テストステロン補充療法
(米)日本人を組み込んだ試験を開始

Pieris社からの導入品(PRS-080)

(欧)貧血治療剤として開発中

パイプラインの充実を図る

生産性向上の取り組み

効率化推進

- ◆ いわき工場
リソースの最適化



全社システム

- ◆ ERPシステム
「SAP S/4HANA®」
2018年4月稼働予定



人事制度

- ◆ 多様な働き方への対応
勤務地限定MR制度
勤務時間限定社員制度
Welcome Back制度

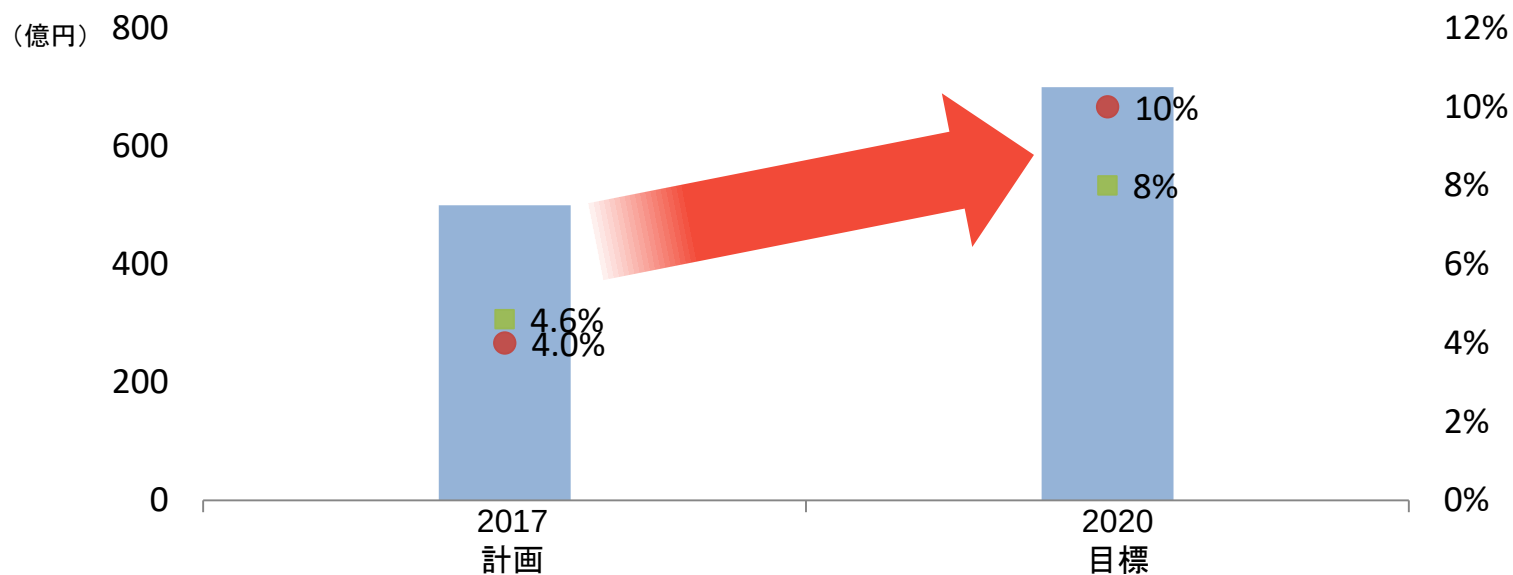


働き方改革

ASKA PLAN 2020 目標にむけて

連結

	2017年度 計画	2020年度 想定目標
売上高	500億円	700億円
営業利益率	4.0%	10.0%
ROE	4.6%	8.0%



あすか製薬グループ

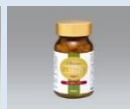
あすか製薬



医療用医薬品事業



あすか製薬メディカル



検査事業/ヘルスケア事業

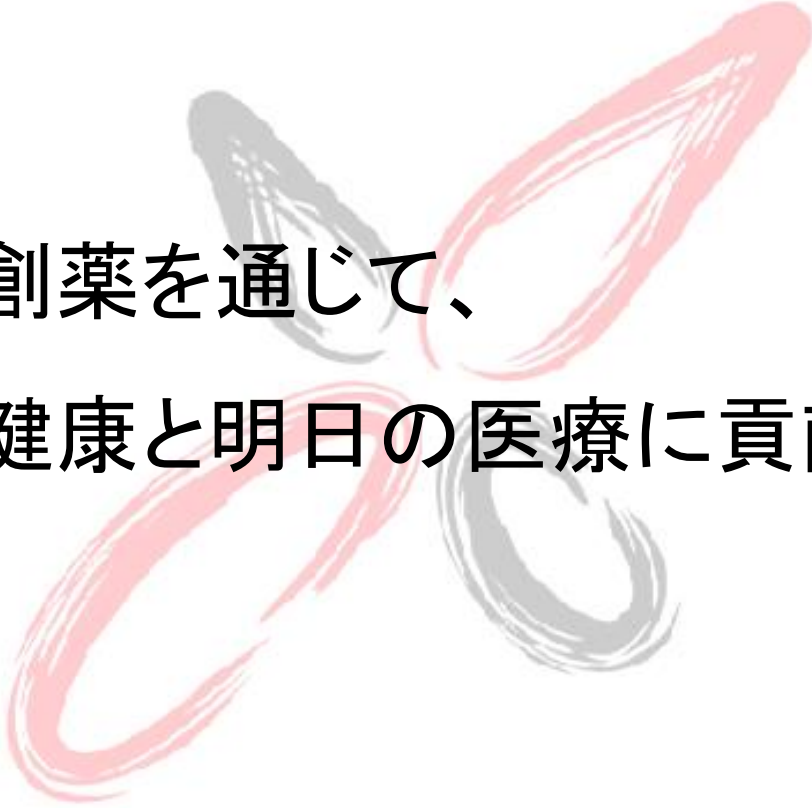


あすかアニマルヘルス



動物用飼料・医薬品事業



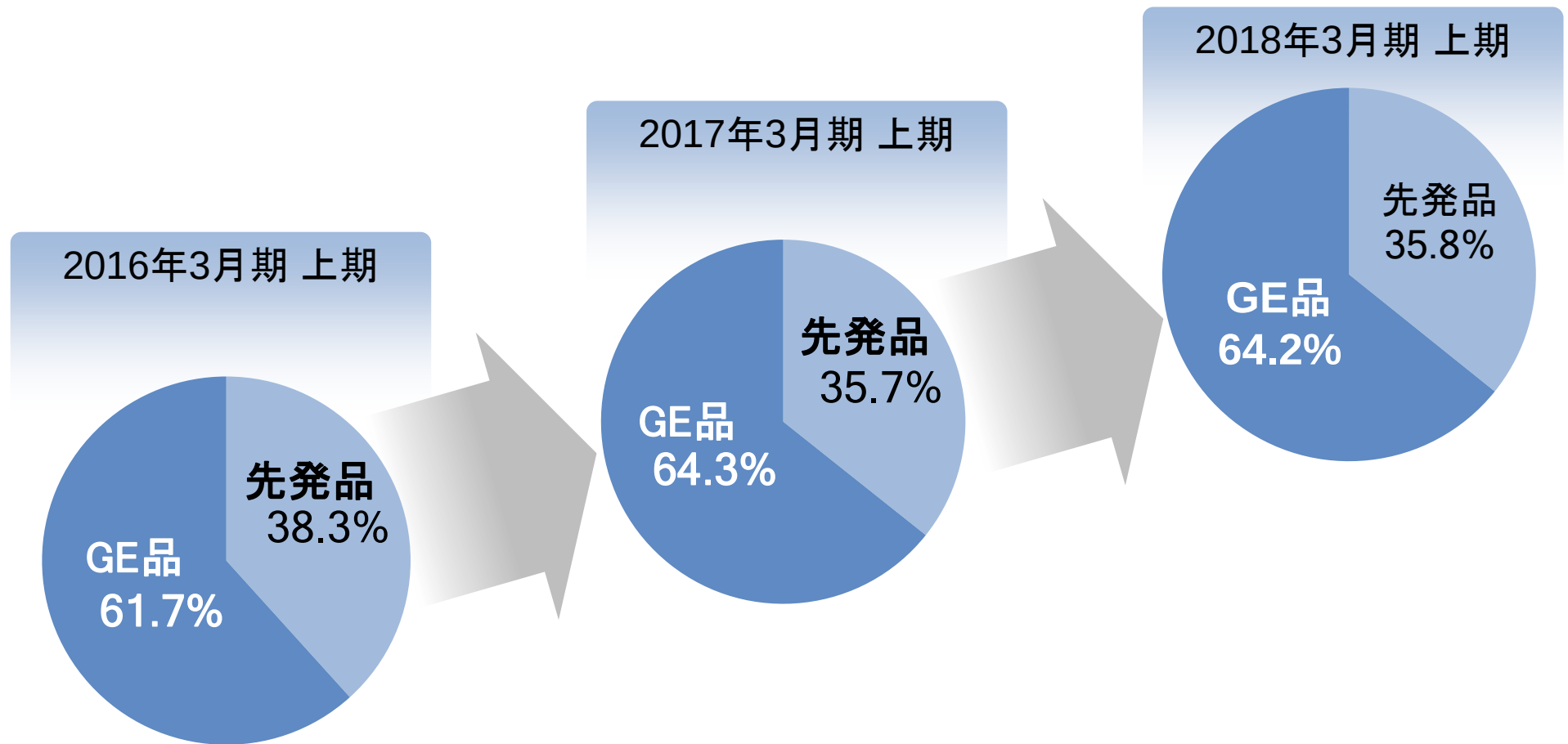


先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

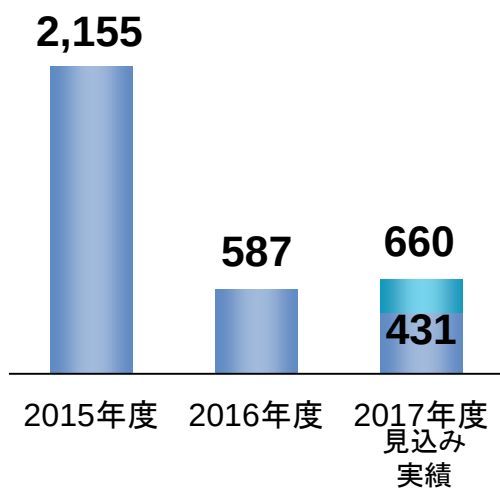
ご参考：医療用医薬品の売上構成比



ご参考：設備投資・減価償却費・研究開発費

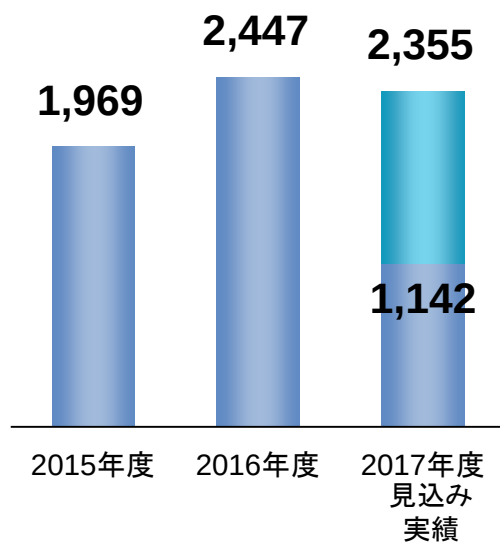
設備投資

(百万円)



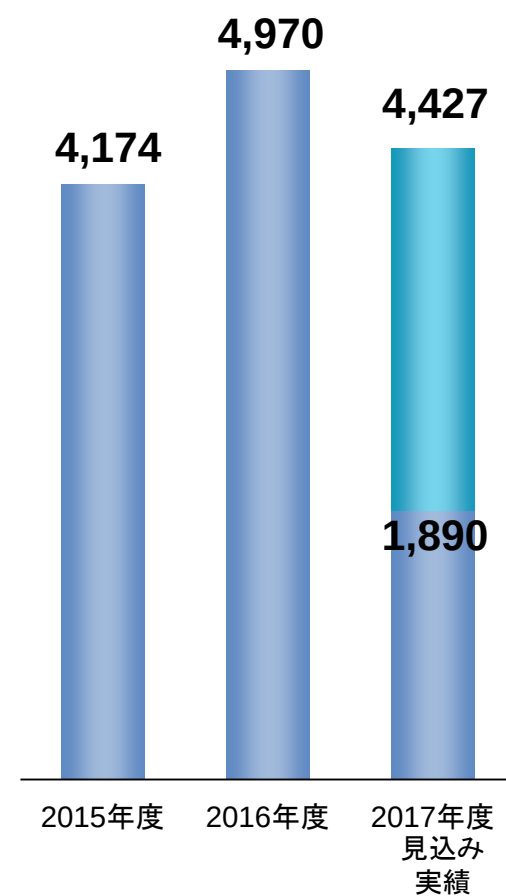
減価償却費

(百万円)



研究開発費

(百万円)



- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

Tel : 03-5484-8366

e-mail: kouhou@aska-pharma.co.jp

